



タイちゃん だより

夏の青空がまぶしい季節となりました。各学校では夏休みを前に、職場体験・看護師体験・インターンシップの申し込みが始まっています。看護の素晴らしさが伝わり、看護職を目指してくれる仲間が一人でも増えると嬉しいです。



これまでに「病院・看護部理念」「看護部方針」を確認してきました。今回は「平成30年度 柏崎総合医療センター看護部目標」を見てみましょう。

1. 地域に必要とされる病院への参画：施設基準を維持し、地域包括ケア病棟体制を整備する

- 1) ベッドコントロールを活性化し、在院日数を調整する（一般病棟在院日数18日以内）
- 2) 重症度、医療・看護必要度の精度を上げる（一般病棟30%以上維持）

2. 専門職としての自覚を持ち、質の高い看護ケアを提供する

- 1) 専門職としての人材育成を図る
 - (1) リーダーの育成
 - (2) 看護職として倫理的視点を高める
 - (3) 一定水準の看護技術・看護ケアが提供できる
- 2) 退院支援体制の充実および地域連携システムを構築する

3. 働き続けられる職場環境をつくる

- 1) 働きやすい職場環境を構築していく
- 2) 時間管理に焦点をあて退社に臨む

具体的実践内容は、各部署にある目標を確認してください。また、各目標は担当する師長・主任・委員会等により始動しています。今、行っていることが何に向かって行われているのか確認してみましょう。

☆ 高校生一日看護師体験 7月27日 19名
☆ 中学生職場体験 現在、7校 19名の申込があります。

2・3年目看護師 看護技術習得月間 7～9月

1年目で習得できなかった技術を中心に、確実にできる看護技術を1つでも多く習得しましょう。技術の目的を知り、患者さんが安心して安全なサービスの提供を受けられるように看護技術を磨きましょう！

6月1日(金) 新人夜勤前研修

2年目の先輩看護師から、業務だけでなく夜勤でできない看護についても語っていただきました。



24時間患者さんを見守る！
夜勤の仕事

6月20日(水) 看護リフレクション研修

日々の看護実践の中で行っている行為に対し、疑問を持ちたり考えていることをフレームワークに沿ってリフレクションすることで改めて看護のやりがいを感じ、質の高い看護に繋がります。発表会は10月です。

新潟県看護職員認知症対応力向上研修会

3日間にわたる研修に5名の看護師が参加しました。10月・11月に院内研修を企画しています。
テーマ：「不穏と呼ばないで！」せん妄を理解して予防しよう。せん妄に対する正しい知識を身につけてケアを行うことができる。知識を基に予防的看護を実践できる。そして身体拘束の減少を目指します。

6月13日(水) 新人医療安全研修

危険予知トレーニング (KYT) でリスク感性を磨くことの大切さを学びました。

6月29日(金) マネジメント研修

看護専門職として必要な管理に関する基礎知識を学ぶことを目的に行われています。第1回目は猪俣看護部長の講義から始まりました。組織とは何か。組織の中の役割、地域への貢献などを学びました。

重症度、医療・看護必要度評価者院内指導者研修

6月24日(日) 14名参加 8月26日(日) 9名参加予定
医療の現場において患者の重症度、医療・看護必要度評価が適切に行われ、看護の質確保に活かされることを目標に研修が行われています。
地域格差が増大した人口動態の変化に合わせ、医療・介護サービス提供体制が必要です。そして患者さんが自立して地域で生活するために、患者自身のセルフケアマネジメント力を高め、支援体制整えなければなりません。医療チームだけでなく地域との連携がますます重要になります。患者の状態を明らかにするために必要な、ビックデータ、ティープデータである「重症度、医療・看護必要度」を正確に評価していきましょう。

ナースングスキル 7月31日期限の課題

基準手順委員会：静脈注射・輸液管理
看護必要度委員会：重症度、医療・看護必要度の評価
救急委員会：心肺蘇生法

6月の看護補助員研修は役割研修～役割を学んで業務に生かそう～

チームのちから。
サッカーワールドカップ 日本代表チームは、決勝トーナメント1回戦で惜しくも敗退という結果で終わりました。
ワールドカップのために召集されたメンバーは、短期間でチーム力を高めました。西野監督は、著書「勝利のルーティーン」で勝利に必要な3要素は「洞察力」「コミュニケーション力」「想像力」と述べています。私たち医療チームも同じですね。
いずれにしても、頑張っている人を見ると応援せずにはられません。

